

第13回 留学生里親・里子だより

●「留学生さとおやの会事務局」 〒540-8508 大阪市中央区森ノ宮中央1-6-20 (株) サクラレパス内
 TEL: (06) 6910-8800 FAX: (06) 6910-8837 2010年9月発行

2010年 対面の会

司会席から

2010年度の「留学生さとおやの会」対面の会（6月26日（土）大阪商工会議所6F白鳳の間で開催）では、今回で3回目となる司会の役を頂きました。里親さんと里子さんのお名前をお呼びするのですが、里子さんの名前をお呼びするにあたり、アシスタントに台湾出身の葉晏伶さんにお手伝いいただきました。私の里子でもありますので、打ち合わせもスムーズに運び、また準備の時点でもこまごましたことまで手伝って頂き、感謝しております。

対面の会は例年通り西村代表幹事のあいさつの後、ご来賓の大阪商工会議所理事国際部長の上月康嗣様にご挨拶をいただき、その後それぞれの親子の対面式となりました。

今年もまた多くの出会いがスタートしました。司会の側から見ていますと、どなたも緊張と共に、目が輝いているのが良くわかります。里子さんたちは、お世話になる里親さんに会えること、また、来春に迎えることに

なる新しい道への期待でしょうか。里親さんたちも、今度はどんなことお手伝いできるかなと、思いを巡らされているように思えました。目標を持たれている人の目だからなのでしょう。



田仲八重子

私たちの所でも今年3月、4月には各方面に旅立ちがあり少し寂しさを感じていましたが、この時期にまた新たな出会いが始まりました。アシスタントの葉さんも、昨年度は、名前を呼ばれて前に出て行くほうでした。里子さんたちもこの1年で、それぞれに新たな出会いを重ねて、道を開かれていくことでしょう。人との出会いは一生の財産に思えます。いい距離を保ちながら側面からサポートして応援し、いい交流が続いていくように、私も新たな発見と出会いのある1年であるよう務めていけたらよいと願っております。



初めての司会アシスタント

去年のこの時期、私も新しい留学生里子として始めて対面会に参加しました。前回の対面会ではどのような方が里親さんになるのか、緊張半面楽しみでもあり、わくわくした気持ちでいました。今年6月26日(土)「里親・里子対面式」が、里親である司会の田仲さんのお手伝いとしての参加です。日本人にとって特に中国語の名前は発音しづらいので、私は新しい里子さんの名前を呼ぶ係でした。司会のサポートなのでステージ上に上がることになり、前回の対面式とは違う緊張感でいっぱいでした。

里親さんと新しい里子さんは、この日がはじめての顔合わせです。里子の皆さんは前回の私と同じく緊張しているようでもあり、どんな里親さんと対面することになるのかとてもわくわくしている様子でした。名前を呼ばれた里親さんと里子さんはステージの前に出てお互い挨拶をし、そろって写真を撮ってテーブルに戻り、初めての会話です。あまり日本語に慣れていない里子さんもいたでしょうが、それでも皆さんとても楽しくお話をされていたように思います。

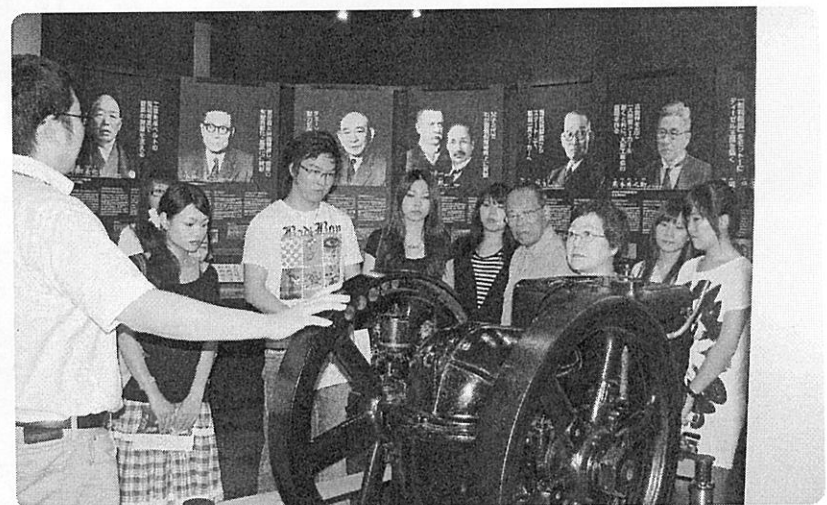
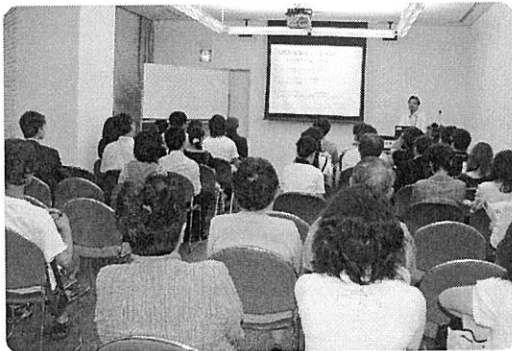
さとおやの会では夏には遠足があり、お正月の新年会では日本だけでなく里子さんの故郷の伝統芸能の発表など、



葉 晏伶(台湾)

とても楽しい催しがたくさんあります。普段でも時々里親さんと夕食パーティーをしたり、もちろん困ったことや悩み事があったら親身になって相談に乗ってくれます。里親の皆様もとても優しく親切にしてください。今回新しく里子になった留学生の皆さんには、今後いろいろな悩みがあったら遠慮なく里親さんに相談してください。とても親身になって相談に乗ってくれたり、夕食パーティーを開いてくれるはずですよ。里親さんと共に充実した留学生活を楽しんでください。

留学生さとおやの会の皆様にはこのような機会を与えてくださり、いつも本当に感謝しています。この場をお借りしてお礼申し上げます。



対面の会終了後 大阪企業家ミュージアムを見学させて頂きました

2007年の春、桜の満開時期に私は日本に来て、一人暮らしを始めました。非漢字圏国の留学生の私にとって、言葉の壁や文化の違いで最初は寂しく不安だらけで辛い日々でした。日本語学校に入り、日本語を勉強していましたが、学校内では標準語しか教えなかったため、日常生活で早口の関西弁についていけなかったのです。そして、同じ年の5月頃、担任先生の紹介で「留学生里親会」を知り、応募してみました。それがきっかけで、西村家の里子になりました。

西村家に出会って、今年4年目になりました。初めて出会った時から変わらない笑顔で、様々な相談にのって頂いたりして、何から何までいつもお世話になります。それに、毎月里子のみんがお父さんの家に集まり、料理を作ってみんなで食事しながら、色々な国の話やみんなのエピソードを聞く事やお父さんの孫達と遊ぶ事が私の楽しみです。日本に来る前に、フライパンさえ触った事のない私が料理を作るなんて、母国にいる両親も驚きました。

日本に来て西村家の皆さんと出会えて本当に良かったです。これからもずっと長くお付き合いをしていきたいと思っています。



SAENGRUNPUANGSRI
SUTTHIKORN (タイ)



昨年、「留学生里親の会」対面式に参加したとき、向こうの席で不安を持ちながら、自分の里親はどんな人かを色々想像していました。あっという間に、この留学生里親の会に参加してから、二年目になりました。今年は先輩として、お父さんとお母さんと同じ側に座って新しい里子を歓迎します。向こうに座っている留学生も去年の私と同じ気持ちでしょうか。

2008年10月に日本に来て、もうすぐ二年になります。一年前、来日の目新しさがなくなり、日本語が上手く話せなくて、進学や将来のことについて一番不安な時期に、日本語学校の先生にこの留学生里親の会を紹介していただきました。ほぼ一ヶ月一回の交流活動で、いつも里親さんの家で、様々な国の料理を食べながら、お父さん、お母さんとそれから他の留学生たちと愉快に会話を楽しんでいます。困ったことなどがあれば、お父さんとお母さんはいつも相談に乗ってくれるので、心配することはありません。他の留学生たちと色々情報を交換したりして、心の不安もだんだんなくなりました。この里親の会を通じて、企業の工場、企業家ミュージアムや日本の歴史のある名所を見学したりして、自分自身が色々なことを感じ、将来のこともますます見えるような感じがします。

今では、日本の文化や習慣は大体慣れてきて、日本語も話せるようになりました。この里親の会に参加して、本当によかったと思っています。まだまだ勉強すべきことは山ほどあります。日本の大学院を目指して努力していきたいと思っています。お父さんとお母さん、何時もありがとうございます。心には感謝の気持ちいっぱいです。できれば、この留学生里親の会をずっと続けたいと思います。



黎 元(中国)

お手紙の交換

(里子)

お母さんと出会って、もう五年目になる。初めて会った時はまるで昨日のことようだ。お母さんのお陰で、最初、何も分からない私から、日本語や日本文化やマナーなどがだんだん分かってきた。お母さんと呼んでも、友達の関係の方がよりふさわしいではないか。何でも相談に乗ってくれるお母さんは、一人で海外に留学している私にとって、大切な存在だ。進路がなかなか決められなかった時も、お母さんから様々なアドバイスをさせていただいて、とても心配をかけた。入学通知書が届いた時、母国の両親よりお母さんに先に電話で知らせ、お母さんの声を聞くと、まるで自分のことのように嬉しさがすぐ分かった。私は涙が出るぐらい感動した。いつも元気な、おしゃれな、頑張っているお母さんにただ一言を言いたい、「ありがとう！お母さん」。



王 芳
(中国)

(里親)

早々とお手紙ありがとうございました。お母さんはごく当たり前のことしかしていません。むしろもっと貴女の色々な事に時間を割くべきだったと悔やんでいます。でも、とてもうれしかったです。出会った頃あなたのアルバイト時間が女の子なのに深夜（飲食店）だと聞いた時びっくり仰天！留学生が生活費、学費のためとはいえ、危険性や学業に支障を来すことなど絶対阻止せねばと、心を鬼にしてきつい言葉で叱ったこと、母の日にカーネーションは1本でいいのに沢山の束でいただき、アルバイトで得た少ない中からと思うと痛々しく胸が詰まりました。そんな大切なもの1日でも長く持たせねばと、ガラスコップに入れ冷蔵庫の中は暫く華やいていました。沢山の思い出をありがとう。今はすっかり日本の生活にも慣れ、学業に励んでいる生き生きとした姿を見て貴女を誇らしく思っています。どうか将来の貴女の夢や希望に向かって力強く前進してください。陰から応援致します。



比嘉松子

先日私の職場の課外授業の一環で、留学生からのインタビューを受ける授業があり、そのテーマは「正しく日本語を話しているか」を観察することでした。5人の中国の彼、彼女からは自分達の興味を引くインタビューが次々と飛んできました。その内容は私の仕事観やその仕事を選んだ動機、又生き方など、それらは今後彼達が進学・就職といった事への参考にしたいの事で、とても責任ある回答をせねばと焦りました。

留学先を日本として選んでくださった向学心に燃えた学生たちに、もっとも私達が少しでも何か手助けすべきと願うばかりです。政府の打ち出した留学生30万人計画は既に留学生132,000人、就学生を含めると総数17万人程度いるとの事。留学を終えた学生は日本国内に就職する人達が増えつつあるのも国際社会へのグローバル化に加速して来ているとの事。留学生達がわが国への大きな社会貢献している事は過言ではないと思います。

比嘉松子



2006年対面の会での2人

編集 後記

4月16日に第7回総会を開催して皆様の承認をいただき、留学生さとおやの会は8年目に突入いたしました。これも会員各位のご支援、ご協力の賜物であると、心よりお礼申し上げます。

本年も例年通り、31人の留学生を迎え、対面の会を開催しました。ドキドキの対面を終え、各ご家庭での交流を深めていただいていることと思います。今後は10月9日に交流遠足、平成23年1月15日に新年交流会を開催する予定です。日程が近づきましたら詳しいご案内をお送りいたしますが、是非今からご予定いただき、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

また、お知り合いの方で里親事業に興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介いただきますよう、よろしくお願いたします。

(事務局)